

由利地域 重点「道の駅」 推進協議会の設立について

●設立の趣旨

重点「道の駅」に選定された象潟を含む、由利地域の6つの「道の駅」の連携方策等を協議し、環鳥海地域における広域周遊観光や地場産業の振興をはかるため推進協議会を設立。

○推進協議会

- ①基本コンセプトの確認
- ②6駅連携方針、具体的方策の決定
- ③検討事項のとりまとめ

○協議会の会員

由利本荘市長、にかほ市長
秋田県建設部技監、秋田県由利地域振興局長
東北地方整備局秋田河川国道事務所長
東北道の駅連絡会事務局長

○幹事会

推進協議会の実務等を遂行する下部組織として、幹事会を設置し細部の検討を行う。

○幹事会の構成

道の駅駅長(象潟、にしめ、岩城、おおうち、東由利、鳥海郷)
由利本荘市商工観光部観光文化振興課、にかほ市商工観光部観光課
秋田県建設部道路課、秋田県由利地域振興局総務企画部・建設部
東北地方整備局秋田河川国道事務所

由利地域 重点「道の駅」基本コンセプト(案)

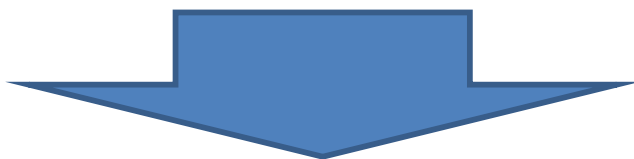
・地域内6駅連携による環鳥海地域の広域周遊観光圏の形成

→地域外から活力を呼ぶ「ゲートウェイ型道の駅」と
地域の元気を創る「地域センター型道の駅」の連携による地域振興

→環鳥海地域の魅力・特産品を活かした広域周遊観光圏を形成

・地域内6駅の個性を活かした、6次産業化等の振興

→各駅の農産・水産品などの競合と差別化による産業振興



<p>観光総合案内 6駅連携による環鳥海地域の ゲートウェイ化</p>	<p>インバウンド観光 環鳥海地域の海外旅行客へ の魅力の発信強化</p>	<p>産業振興 環鳥海地域の恵みを6次産業 化・観光資源化</p>
--	--	--

由利地域 重点「道の駅」基本コンセプト(案)

(重点駅選定時の資料1/2)

- 「鳥海山」・名勝「九十九島」・「岩がき」等の資源を有する「道の駅」象潟に情報発信拠点、交通結節点を整備しゲートウェイ化。
- 環鳥海の6駅が連携し、周遊交通を確保した上で鳥海山・特産品を活かした広域周遊観光圏を形成。
- 環鳥海地域の観光情報ワンストップサービスと各駅の個性(独自商品)を活かした周遊観光の活性化を推進。

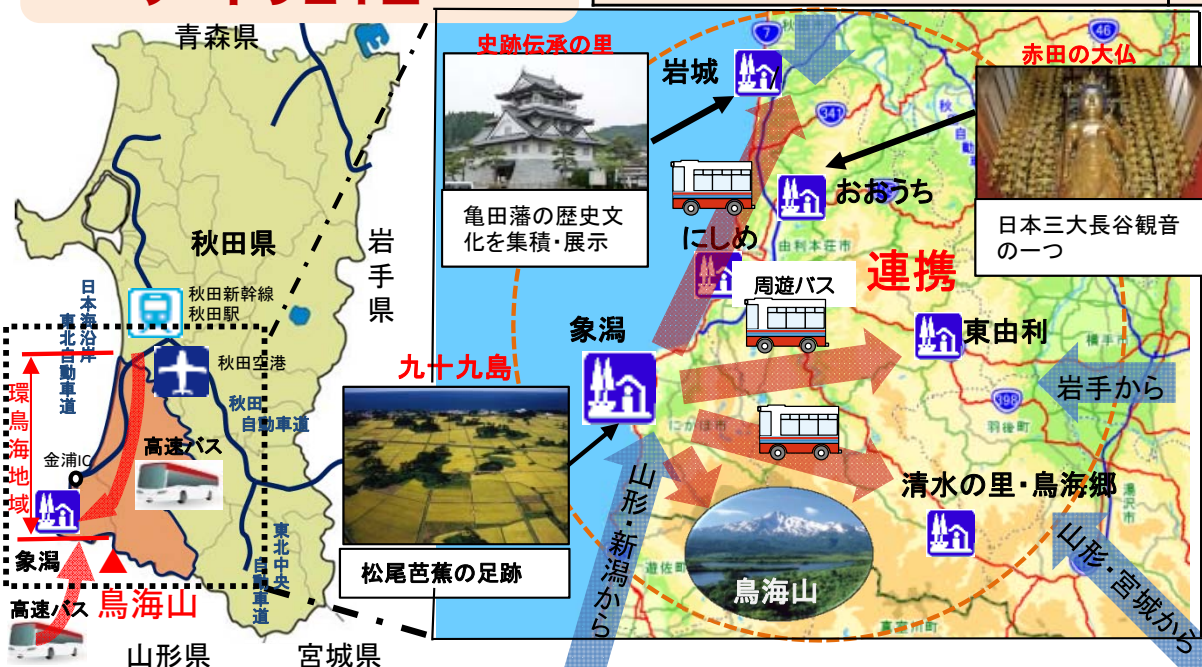
<地方創生拠点としての機能>

ゲートウェイ型

観光総合案内
6駅連携による環鳥海地域、そして秋田のゲートウェイ

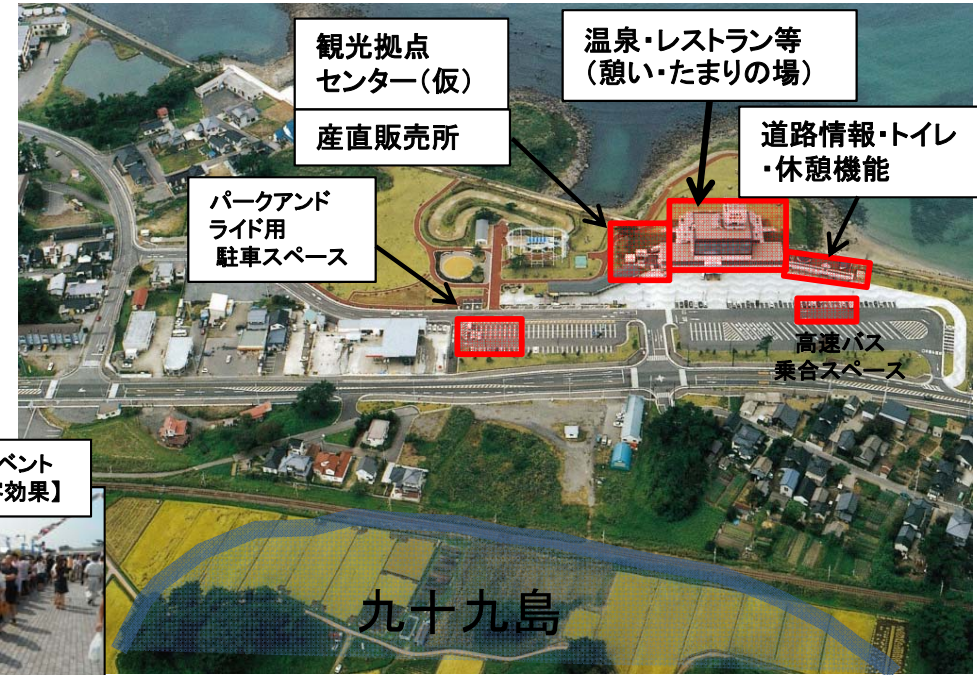
インバウンド観光
環鳥海地域の海外への魅力発信

産業振興
鳥海山の恵みを6次産業化・観光資源化

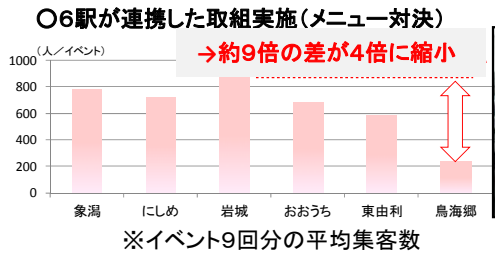
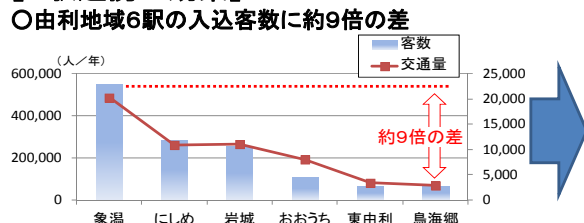


駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
象潟	秋田県	にかほ市	国道7号	既設	平成10年	一体型

<道の駅象潟におけるゲートウェイ機能>



【6駅連携の効果】



【6駅連携イベントによる集客効果】



<提案の先駆性・ポイント>

- 環鳥海地域のゲートウェイとしてワンストップで総合観光情報の発信
- 二次交通・周遊交通の拠点化を図り、パーク&ライド等による結節点の構築
- 地域内の6駅連携による個性を活かした駅間交流と、周遊による活性化
- 各駅独自の6次産業化等の展開と競争による活性化

<実施内容>

(「道の駅」展望台から九十九島の絶景が前面に広がる)

- 観光拠点センターを整備し環鳥海広域観光情報発信
- 空港・新幹線駅から「道の駅」への高速バスやレンタカーなどの交通手段を提供。パーク&ライドを導入し、地域内のコミュニティ交通に乗り換え「道の駅」や「地域内観光名所」を周遊できるミニ周遊観光を提供する。
- 6次産業化に向け、既存加工場(2駅)を活用した6駅連携による商品開発

鳥海山麗の魅力向上(H26~H28)

鳥海山山麗観光案内拠点整備事業

- 観光案内拠点整備事業
- 鳥海山案内人育成事業

湿原等魅力向上事業

- 森の休憩所整備事業
- シャトルバス運行事業
- 市道改良事業
- 携帯電話不感地帯解消事業
- 「天空カフェ」建設事業

○黒字:実施中事業

○赤字:新規事業

由利地域「道の駅」連携(H27~H29)

- 地場産品による特産品開発
- 由利地域6駅連携での販路拡大プロジェクト
- 連携イベントの開催
- 食ビジネスへの展開

「岩城」 国道7号 秋田県中部以北からのゲートウェイ機能



- ・無料高速のターミナル的機能
- ・「夕日」と「釣り」による観光展開
- ・食をキーワード(地場農産品と海産物)

「おおうち」 国道105号 温泉+産直等による地域コミュニティ機能



- ・無料高速のSAPA的機能・災害配送拠点
- ・スポーツツーリズムの道の駅を展開
- ・産直野菜のブランド化と展開

「東由利」 国道107号 岩手県内陸部からのゲートウェイ機能



- ・岩手県内陸からの玄関口
- ・ブランド畜産物にこだわった食の提供
- ・温泉+地域のスーパーマーケット的機能

「鳥海郷」 国道108号 仙台・山形方面からのゲートウェイ機能

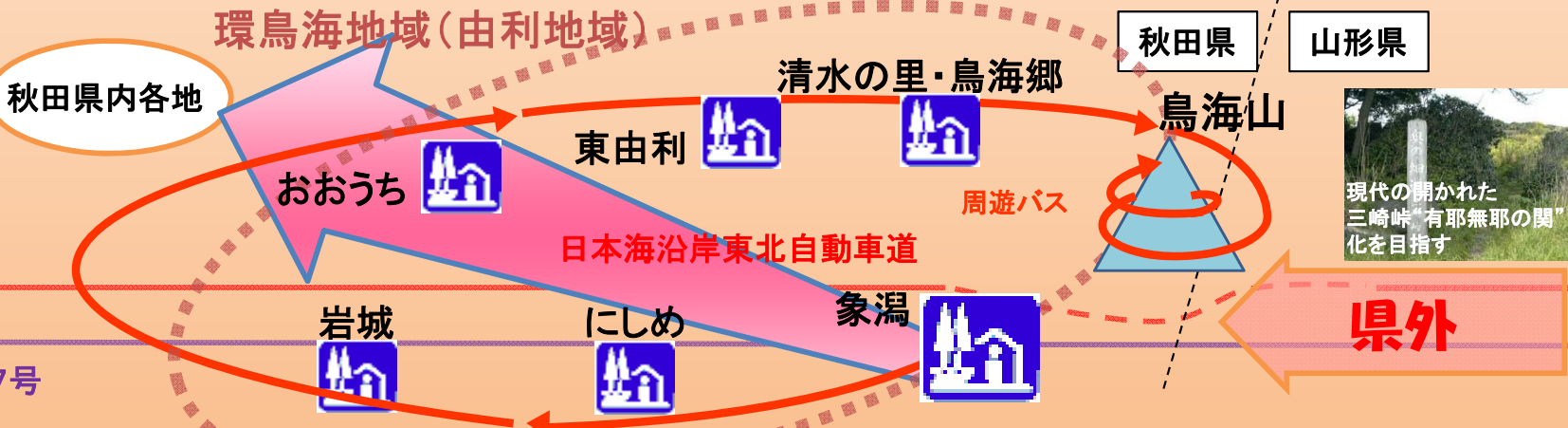


- ・秋田県南内陸部の玄関口
- ・食をキーワード(そばや山菜)
- ・そば打ち体験等既存食品加工施設の活用

「にしめ」 国道7号 豊富な周辺観光施設による地域コミュニティ機能



- ・域内観光の重心的機能
- ・豊富な周辺施設...滞り型道の駅を展開
- ・産直や物販を通じた地域振興の場



ゲートウェイ化(H26~H28)

- 「道の駅」象潟:「ねむの丘」再整備(観光センター)
- 二次交通の確立(空港・駅等とのアクセス向上等)
- 広域観光情報の共有運用(観光拠点間との連携)
- 広域観光プロモーション

- 観光案内人の育成
- 体験型など多様な観光メニューの造成促進
- 多様な分野での連携基盤の構築
- 食ビジネスの展開

「象潟」 国道7号 秋田県・環鳥海地域へのゲートウェイ機能



- ・全県の+環鳥海地域の観光情報発信
- ・日本海・鳥海山を一望できる展望台
- ・海・山の豊富な地場産品

想定される補助メニュー(活用可能か検討中)

- 国交省:直轄道路事業、社会資本整備総合交付金 等
- 観光庁:観光地域ブランド確立支援事業 等
- 経産省:ふるさと名物応援事業等
- 農水省:6次産業化ネットワーク活動交付金 等

産直施設のリニューアルにあわせ

観光情報発信機能も強化



由利地域 重点「道の駅」 これまでの取組について

○これまでの取組

重点「道の駅」の選定による由利本荘地域6駅の今後の取り組み等に関する意見交換会

- ・平成27年3月17日 第1回意見交換会
各駅からの現状の取組と課題について

取組: 6駅連携による道の駅バトル、観光拠点センターの整備 など

課題: 冬期間の集客減、ゲートウェイ型・センター型のどちらなのか明確でない、機能強化のためには設備の増強やノウハウが必要 など

- ・平成27年5月27日 第2回意見交換会
各駅等からの連携メニューの提案

6駅連携による道の駅バトルの継続、6駅紹介の共通パンフレット作成、各道の駅で行っているイベントへの出店、不審者情報等防犯面の連携、6駅一斉のEV充電器整備とPR、6駅毎の紹介共通パネルの作成と各駅への展示 など

○現在進行中の連携メニュー

- ・6駅連携による道の駅バトル・・・交流人口の増大、各道の駅間の周遊化
- ・観光拠点センターの整備(建設中:H28完成予定)・・・ゲートウェイ化
- ・6駅毎の紹介共通パネルの作成と各駅への展示(準備中)

由利地域 重点「道の駅」 今後の予定について

スケジュール（案）

